

PAT-NO: JP02000041557A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000041557 A
TITLE: FISHING ROD HOLDER
PUBN-DATE: February 15, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

| | |
|------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| KURIYAMA, TADAKI | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| | |
|-----------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| KURIYAMA TADAKI | N/A |

APPL-NO: JP10212427

APPL-DATE: July 28, 1998

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fishing rod holder that is readily portable because of its light weight and is simple to handle on its use.

SOLUTION: This rod holder comprises a part for fixing a fishing rod and a plugging rod 15 that is fixed by insertion into a hole bored on boat edge and the rod fixing part is equipped with a half cylindrical lower cylinder 3 that is openable via a hinge 4 and has a projection piece 11 having a screw hole 13 bored, and a half cylindrical upper cylinder 5 having a projection piece 7 with a screw hole 9 bored. The plugging rod 15 is equipped with

BEST AVAILABLE COPY

a stopper 21 that
is slidable along the plugging rod 15 and the plugging rod
15 is connected to a
lower plugging part 17 through a hinge 19.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-41557

(P2000-41557A)

(43) 公開日 平成12年2月15日 (2000.2.15)

(51) Int.Cl.

A 0 1 K 97/10

識別記号

F I

A 0 1 K 97/10

テマコード(参考)

A 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-212427

(22) 出願日 平成10年7月28日 (1998.7.28)

(71) 出願人 598100715

栗山 忠樹

東京都八王子市寺田町432 グリーンヒル

寺田130-403

(72) 発明者 栗山 忠樹

東京都八王子市寺田町432 グリーンヒル

寺田130-403

(74) 代理人 100096091

弁理士 井上 誠一

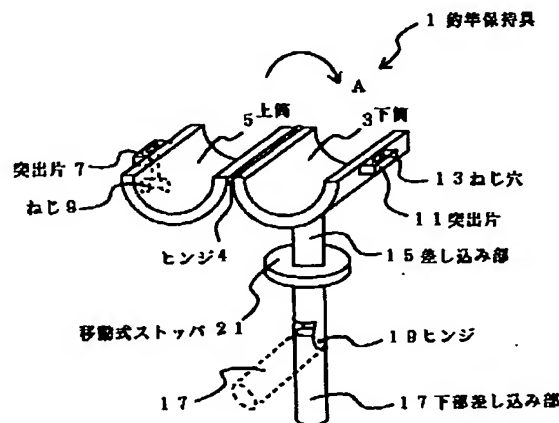
Fターム(参考) 2B109 CA13 CA27

(54) 【発明の名称】 釣竿保持具

(57) 【要約】

【課題】 軽量で携帯が便利であり、使用時の操作が簡便な釣竿保持具を提供する。

【解決手段】 釣竿を固定する釣竿固定部と、船縁穴に差し込むための棒状の差し込み部とを具備し、釣竿固定部として、ヒンジ4を介して開閉可能な半円筒状の下筒3と半円筒状の上筒5とを具備し、下筒3にはねじ穴13を有する突出片11が設けられ、上筒5にはねじ9を有する突出片7が設けられ、棒状の差し込み部として、差し込み部15上で移動可能な移動式ストッパー21を備えた差し込み部15が設けられ、差し込み部15と下部差し込み部17との間には、ヒンジ19が設けられる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 釣竿を固定する釣竿固定部と、船縁穴に差し込むための棒状の差し込み部とを具備する釣竿保持具。

【請求項2】 前記差し込み部に、釣竿の一部を支える竿受けを設けることを特徴とする請求項1記載の釣竿保持具。

【請求項3】 前記差し込み部は、ヒンジを具備し、揺動可能である請求項1または2記載の釣竿保持具。

【請求項4】 釣竿を固定する複数の釣竿固定部と、船縁穴に差し込むための棒状の差し込み部を具備する釣竿保持具。

【請求項5】 前記差し込み部は、ヒンジを具備し、揺動可能である請求項4記載の釣竿保持具。

【請求項6】 前記差し込み部は、釣竿と水面との角度を調節する角度調節機構を具備することを特徴とする請求項4記載の釣竿保持具。

【請求項7】 船縁に引っ掛かる回転防止具を更に、具備することを特徴とする請求項4記載の釣竿保持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、船釣りの際の釣竿保持具に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、船上から釣りをする際、図12に示すような釣竿保持具（ロッドキーパー）が一般的に使われてきた。

【0003】図11の釣竿保持具は、釣竿支持部105が備えられた基台107に、挟持具支持部103を備え、さらに挟持具支持部103に釣竿挟持具101が着脱可能に備えられている。釣竿挟持具101は、釣竿111を挟持する。釣竿を保持する際は、まず、基台107をネジ式の基台取付固定具109により船縁113に固定し、釣竿111に固定された釣竿挟持具101を挟持具支持部103に取り付け、釣竿111の一部を釣竿支持部105にのせて使用していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の釣竿保持具は、大きく、大重量で持ち運びが不便であり、更に、船に固定する際の操作も面倒だった。

【0005】本発明は、このような問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、軽量で携帯が便利であり、使用時の操作が簡便である釣竿保持具を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために本発明は、釣竿を固定する釣竿固定部と、船縁穴に差し込むための棒状の差し込み部とを具備する釣竿保持具であり、第2の発明は、釣竿を固定する複数の釣竿固定部と、船縁穴に差し込むための棒状の差し込み部を

具備する釣竿保持具である。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は第1の実施の形態に係る釣竿保持具1の一例を示す模式図であり、図2は釣竿保持具1を使用する船22の平面図であり、図3は図1の釣竿保持具1の船縁での取り付け図であり、図4は図3におけるB-B断面図である。

【0008】図1の釣竿保持具1は、釣竿固定部として、ヒンジ4を介して開閉可能な半円筒状の下筒3と半円筒状の上筒5とを具備し、下筒3にはねじ穴13を有する突出片11が設けられ、上筒5にはねじ9を有する突出片7が設けられる。下筒3と上筒5で釣竿27（図3）を挟持し、ねじ穴13にねじ9を挿入させて下筒3と上筒5とをねじ止めする。図1では、釣竿の1か所を挟持しているが、2か所以上で挟持しても構わない。又、釣竿固定部は、図1に示すような構造以外でもよい。

【0009】下筒3の下方には、図2に示す船縁23の穴25に差し込まれる差し込み部15が設けられる。差し込み部15上で移動可能な移動式ストッパー21を備え、船縁23の穴25への差し込み深さを調節できる。差し込み部15と下部差し込み部17との間には、ヒンジ19が設けられ、持ち運び時等には、図1の点線部のように、折れ曲がった状態にすることができる。図1においては、ヒンジ19を用いて差し込み部15と下部差し込み部17とを折れ曲がる構造としたが、差し込み部は1本の棒状でも構わない。

【0010】次に、図2～図4を用いて、釣竿保持具1の使用手順の手順を示す。20はリールである。まず、下筒3と上筒5との間に釣竿27を挟み、ねじ9をねじ穴13に挿入してねじどめする。次に、下部差し込み部17および差し込み部15を船22の船縁23にある穴25に差し込む。このとき、移動式ストッパー21で、差し込み深さを調節することができる。「こませ」の振り出しの際等には、ヒンジ19が船縁23の上面の上に来るまで釣竿保持具1を移動させれば、釣竿27をヒンジ19を支点としてB2方向に揺動させることができる。

【0011】図5は第2の実施の形態に係る釣竿保持具の一例を示す模式図である。図5の釣竿保持具1aは、ヒンジ4を介して開閉可能な半円筒状の下筒3と半円筒状の上筒5とを具備し、釣竿を挟持しねじどめするためのねじ9を具備する。釣竿保持具1は、船縁の穴に差し込まれる差し込み部15を有する。また、差し込み部15上で移動可能な移動式ストッパー21を備え、船縁の穴への差し込み深さを調節できる。図5の差し込み部15は、1本の棒状である例である。差し込み部15の上部には、先端がU字型である竿受け31がスライド可能に設けられ、ねじ33で固定される。釣竿保持具を使

用するとき、下筒3と上筒5とに挟んだ釣竿を竿受け31で支えることにより、安定して使用できる。

【0012】図6は第3の実施の形態に係る釣竿保持具1bの一例を示す模式図である。図6の釣竿保持具は、釣竿保持具の差し込み部15と下部差し込み部17との間にヒンジ30を取り付け、差し込み部15と下部差し込み部17とが揺動可能となり、「こませ」の振り出し等の際には、釣竿27をヒンジ30を中心として、C方向に容易に揺動させることができる。ヒンジ30に代えて、ラチェットを用いることも有効である。また、図6では、竿受け31はヒンジ30より下方にある下部差し込み部17に、ねじ33で固定されている。

【0013】図7は第4の実施の形態に係る釣竿保持具1cの一例を示す模式図である。図7は釣竿の2か所で釣竿を挟持する。これにより、より安定して釣竿を保持することができる。図1の半円筒状の下筒3と半円筒状の上筒5よりなる釣竿固定部と同様の構造を有する釣竿固定部41及び釣竿固定部43を具備し、釣竿固定部41、43の下方に部材42が設けられ、部材42に支柱45が設けられる。支柱45と差し込み部47の間にはねじ49が設けられ、ねじ49をゆるめて支柱45と差し込み部47とのなす角度を任意に設定した後、ねじ49を締めて支柱45と差し込み部47とを固定する。

【0014】また、差し込み部47には移動式ストッパー51が移動可能に設けられ、差し込み部47と下部差し込み部53とがヒンジ55で取り付けられる。

【0015】図8及び図9は、第4の実施の形態に係る釣竿保持具を使用する際の図である。支柱45と差し込み部47との角度を任意に設定して、支柱45と差し込み部47とをねじ49で固定した後、釣竿固定部41、43で釣竿61を挟持する。その後、図8のように、差し込み部47を船縁の穴に差し込む。「こませ」の振り出し等で、釣竿61の先端を上げ下ろす際は、図9のように釣竿保持具1cを少し上方向に持ち上げ、ヒンジ55を中心にD方向に揺動させる。尚、ねじ49とヒンジ55を省略し、支柱45、差し込み部47、下部差し込み部53を一本の棒状部材としてもよいし、図10に示すように、ねじ49を省略し、支柱45と差し込み部47とを一本の棒状部材46とする構造としてもよい。

【0016】図11は、第5の実施の形態に係る釣竿保持具1dであり、図7の釣竿保持具に、回転防止具63を備え、釣竿61が船縁の穴を通る鉛直軸Vまわりに回転することを防止する例である。回転防止具63は差し込み部47に対してE方向にスライド可能であり、船縁にあわせて調整する。

【0017】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように本発明によれば、取り付け、取り外しが簡単で、軽量で、小型化さ

れ、携帯が便利な釣竿保持具を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1の実施例の釣竿保持具

【図2】 釣竿保持具を使用する船の平面図

【図3】 第1の実施例の取り付け図

【図4】 図3におけるB-B断面図

【図5】 第2の実施例の釣竿保持具

【図6】 第3の実施例の釣竿保持具

【図7】 第4の実施例の釣竿保持具

【図8】 第4の実施例の釣竿保持具の使用図

【図9】 第4の実施例の釣竿保持具の使用図

【図10】 第4の実施例の変形例に係る釣竿保持具の使用図

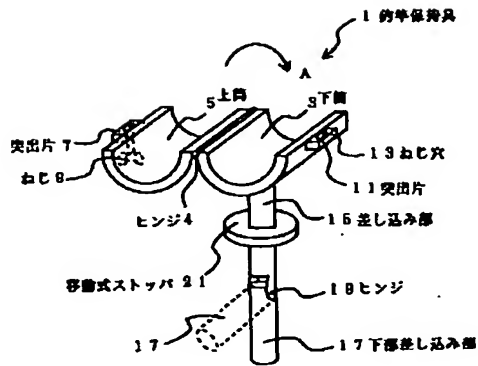
【図11】 第5の実施例の釣竿保持具の使用図

【図12】 従来の釣竿保持具

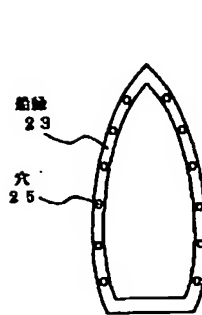
【符号の説明】

- 1、1a、1b、1c、1d……釣竿保持具
- 3……下筒
- 4……ヒンジ
- 5……上筒
- 7……突出片
- 9……ねじ
- 11……突出片
- 13……ねじ穴
- 15……差し込み部
- 17……下部差し込み部
- 19……ヒンジ
- 20……リール
- 21……移動式ストッパー
- 22……船
- 23……船縁
- 25……穴
- 27……釣竿
- 30……ヒンジ
- 31……竿受け
- 33……ねじ
- 41……釣竿固定部
- 42……部材
- 43……釣竿固定部
- 45……支柱
- 47……差し込み部
- 49……ねじ
- 51……移動式ストッパー
- 53……下部差し込み部
- 55……ヒンジ
- 61……釣竿
- 63……回転防止具

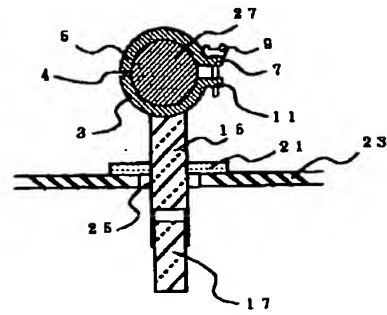
【図1】



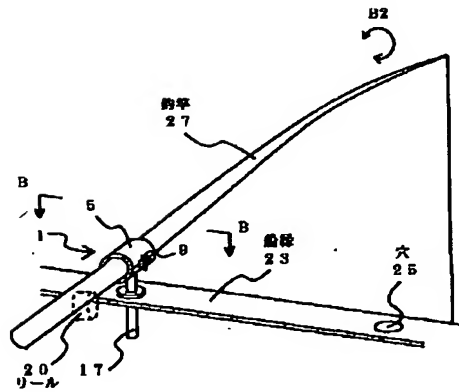
【図2】



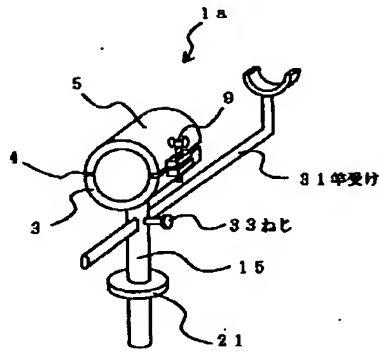
【図4】



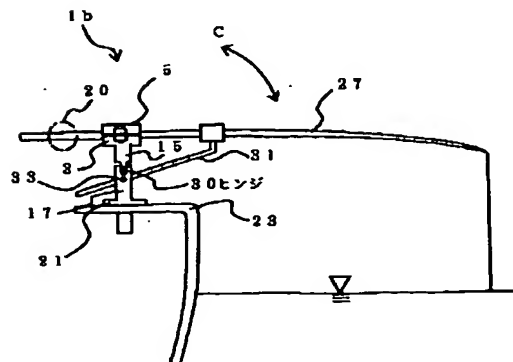
【図3】



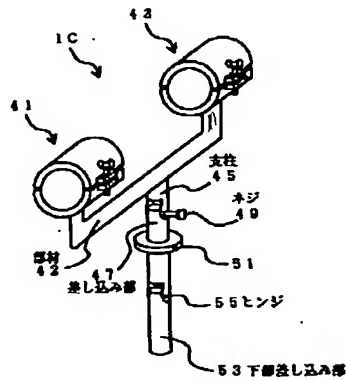
【図5】



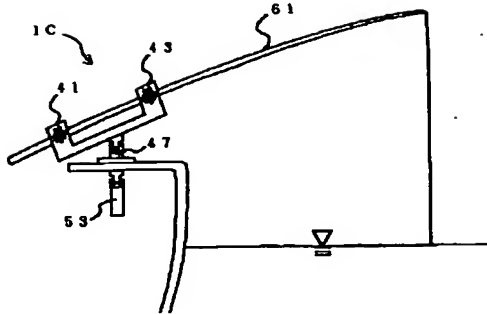
【図6】



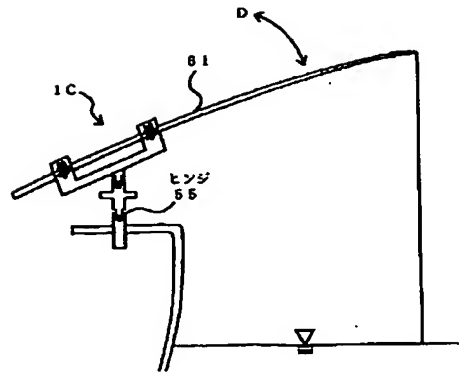
【図7】



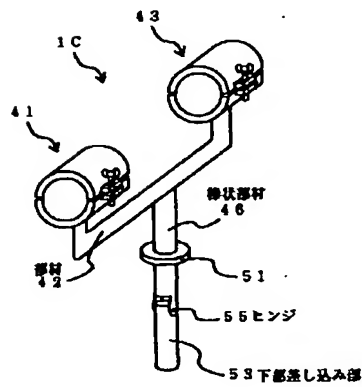
【図8】



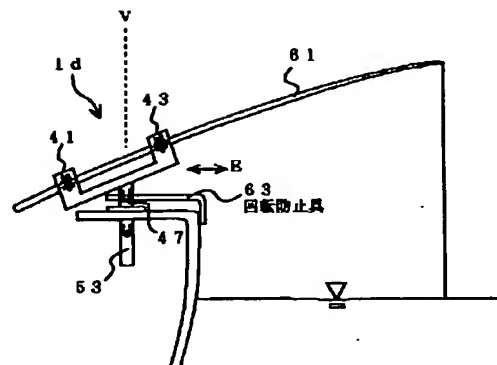
【図9】



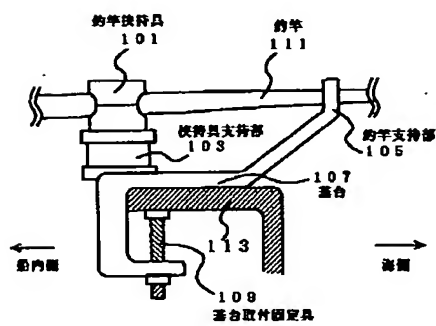
【図10】



【図11】



【図12】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.